

磐城農業高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

今年度は、開催校初めてとなる磐城農業高等学校の緑地土木科2年生と座談会を行い、座学として建設業の役割や新社会人に求められる資質などを学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などを講話いただき、生徒が抱える建設業への就職に対する不安や疑問について意見交換を行いました。

<日 時> 令和7年1月22日(水) 13:20~15:10
 <場 所> 福島県立磐城農業高等学校 会議室(いわき市植田町)
 <対象学年> 緑地土木科 2年生 33名
 <コーディネーター> 齋藤 駿教諭、小澤紀夫教諭、横山直道教諭
 <アドバイザー> 地元建設企業3社(福浜大一建設株、(株)渡辺組、クレハ建設株)
 福島県土木部建設産業室、(一社)福島県建設業協会

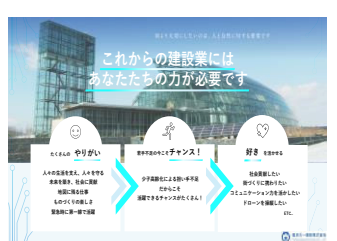
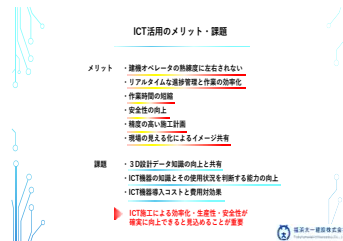
座学1「建設業の役割等について」

講師：福島県土木部建設産業室 主査 伊藤経介氏

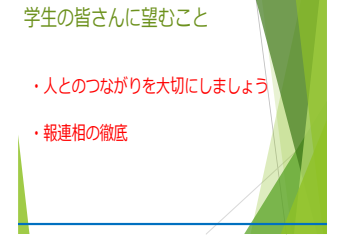


座学2「建設業への就職に向けて」

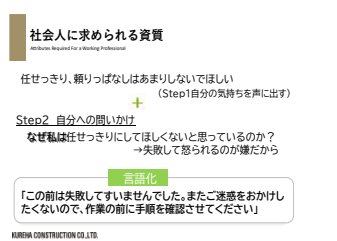
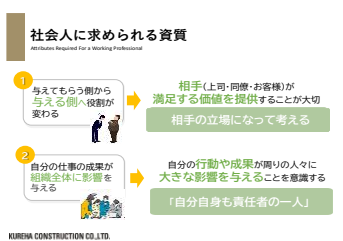
① ICT活用の現状と課題、今後の展望 … 講師：福浜大一建設株 土木部係長 鈴木康修氏
 DX推進室 八木澤裕美氏



② 建設業を担う若手技術者に望むこと … 講師：(株)渡辺組 常務取締役 伊藤由雄さん



③ 新社会人に求められる資質 … 講師：クレハ建設株 総務・人事部主任 佐々依里子氏



座談会（意見交換）

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。

Q1 建設業の給料（初任給）はどれくらいですか。

A1 福島労働局が発表している令和6年3月新規学卒者初任給によると、高校卒の場合は男性が19万1千円、女性が18万6千円となっている。男性の方が高いのは、技術職が多いことが影響しており、同じ職種であれば男女差はないと思う。

Q2 学生のうちに学んでおくべきこと

A2 仕事をする上で、必ずパソコンを使う。ワードやエクセルなどの基本ソフトのほかに、図面を作成するCADの操作スキルを身に付けておいた方が良い。これからの建設業はDX（デジタルトランスフォーメーション）が普及してくるため、パソコン操作は習得しておいた方が良い。

Q3 今のうちに学んでおいた方がよいこと

A3 社会人になると基本的な挨拶やコミュニケーション能力、言語化する力が大事になる。学校の勉強ができなくても会社に入って必要な資格を取り、経験を積めば会社は評価してくれる。身構えなくても会社に入ってから頑張りでいくだけでも挽回できる。

Q4 学業と仕事の違い

A4 仕事は対価として給料をもらう。学校では道はずれたことをすると注意してくれる人がいる。会社では、一度の間違いは注意してくれるかもしれないが、同じ失敗を繰り返すと信頼されなくなってしまう。仕事には常に責任が伴う。

<座談会の様子>



<生徒からの感想>

- ・給料やボーナス、年間休日数など普段聞けないことを詳しく知ることができた。建設業はブラックなイメージだったが、話を聞くうちに建設業の仕事に就きたいと思う気持ちが強くなった。たくさんの人に建設業の凄さに気付いてほしいと思った。
- ・自らコミュニケーションを取ることやマナーが大事だということを学んだ。座談会で聞いた話を今後の就職活動に活かしていきたい。

<林学科長講評>

企業の方を前に、生徒から質問が出るか心配だったが、意見交換会が始まると活発に質問がでていた様子を見て安心した。本校では、これからの時代を担う産業人の育成を教育目標に掲げている。建設業界の具体的な現場の話や心構えなど、座談会で聞いた話を今後の人生の予備知識として役立ててもらいたい。

